

平成 28 年度

# 学校だより

第 38 号

2017 年 3 月 11 日

ヒューストン日本語補習校

## 東日本大震災より 6 年

6 年前の 3 月 11 日午後 2 時 46 分（日本時間）、東北地方太平洋沖で発生した地震・津波等は我が国に未曾有の大災害をもたらしました。地震が発生したその時、私は勤務する京都府の小学校の校長室で考え事をしながら窓の外をぼんやりと眺めていました。その時、足もとがふらふら、ぐらぐらとしてバランスを失いそうになりました。その瞬間は地震の揺れとは思わず、自分の体調異変かと錯覚していました。その後、周りの人との会話から、地震だと気付きました。同時に、テレビやネット等からの情報により地震の発生源やその規模について知りました。まもなく、大津波に襲われる様子をテレビ中継にて、「まさか、まさか、……」と信じられない光景が映し出されました。

東日本大震災のその後の状況については割愛しますが、我が国は、地震による災害に加え、台風・大雨・洪水等による災害、火山噴火による災害等、自然災害が私たちの生活の身近なところに存在するということを決して忘れてはなりません。常に災害に対する備えを怠らないようにすることが肝要ではないかと思います。

「天災は忘れた頃にやってくる」

忘れることのできる災害はありません。しかしながら、災害を知らない世代が増えていることも事実です。備えに対する意識を持ち続けること、若い世代に語り継ぎ、繰り返し訓練を行うことが災害から身を守ることにつながるものであると信じます。



小学部 1 年授業参観の様子



小学部 3 年授業参観の様子



## 中学部後期期末考査表彰

【優等賞】

中 1 中村太一、本城宇響、新開優珠



中学部 1 年 A・B 合同授業の様子



小学部 4 年 授業の様子



## 3 月 18 日（土）日程について

### 幼稚部卒園証書授与式

9:15~10:05

参加者：幼稚部卒園生（含：保護者）  
小 1～3 年生児童  
来賓及び担当教職員  
場 所：オーディトリウム

### 小・中学部卒業証書授与式 及び高等部修了証書授与式

10:20~11:35

参加者：小・中学部卒業生（含：保護者）  
高等部修了生（含：保護者）  
在校生（小 4 年生～高等部 2 年生）  
来賓及び担当教職員  
場 所：オーディトリウム

### 修了式・離任式

12:40~13:00

参加者：小 1 年生～高等部 3 年生  
（児童生徒及び教職員のみ）  
場 所：オーディトリウム

終了後は、5 校時授業（通常授業）

(生徒の作文「三年後の自分」より)

## 三年後に向けて

### 中1 小滝 未祐

三年後の私は高校一年生です。それで私は高校一年生の私を思い浮かべてみました。

一番最初に思い浮かんだのは、私の英語が上達しているかどうかです。二年前アメリカに来た時、私は全く英語が出来ませんでした。その頃と今を比べると少しは上達しましたが、今でも時々授業の内容が分からないことや、発音が悪くて先生や友達に言っていることがうまく伝わらなかったりして困ることがあります。

英語を上達させるには、まず分からない単語をしっかり調べてきちんと覚え、知っている単語の数を増やすことと、今までは自分の英語に自信がなくて現地校では周りの人に話しかけられないことが多かったので、積極的に話すように努力し、三年後には日本人以外にも色々な国の友達が出来たらいいと思います。

次に、私が三年後にこうだったらいいなと思う事は、中学一年生から始めたトランペットが上達していることです。今はまだ、高い音も他の音も完璧に整っていないし、スラーもうまく出来ないし、たまに英語の音楽用語が分からなくて先生の指示が理解できなくて何をどう吹いたらいいか分からない時があるので、それも直していきたいと思います。

高校に入ると、バンドがアメフトの試合の応援に行くことも多くなるので、補習校との両立が大変になりそうです。私は高校生になっても補習校に通いたいと思っているので、補習校の勉強、宿題、現地校の勉強、宿題のどちらもがんばっていかないといけないな、と思いました。

三年後の私は、今住んでいるテキサスに居ないかもしれないし、アメリカにすら居ないかもしれないし、どこに住んでいるか分からないけれど、トランペットはどこに住んでいても出来ることだから、ずっと続けていきたいと考えています。もし、日本に帰ったとしても、英語の勉強は出来るだけ続けて、アメリカに住んでいたことを活かしていけたらいいなと思っています。英語は世界の共通語なので、英語がしゃべれると色々な国の人達と友達になれます。それを今後活かして、色々な国の人達と知り合いたいです。

## 自然に関わる仕事

### 中1 高橋 沙矢香

三年後、私は英語と理科が深く学べる高校に行っていたいです。あと二年で帰国しなければいけないので、日本でも英語を使い続けることができる職業に就きたいです。私は英語と社会が好きなので、よく文系だといわれるのですが、それ以上に自然が好きなのです。

まず、具体的にどんな分野があるのか調べてみました。たくさんの中で興味をもったのは、「自然・環境・バイオ」です。この分野には、環境汚染の防止などの環境系の仕事や、アウトドアインストラクターなどの自然と触れ合いながら働ける仕事や、遺伝子や微生物の研究を通して新しい薬品などの製品開発の仕事がふくまれています。私は現地校の理科の生物学と環境問題の授業がとて好きだったので、なんだか今から楽しみになりました。

次に、分野別の仕事を調べてみました。その中で私が一番興味をもったのは、「バイオ関連商品企画・開発・研究者」です。それは、自然の中に存在する生命力を利用して、健康食品、材料、燃料などを開発する仕事です。夏休みに仕上げた理科のポスターのように、生物学を活かして開発された環境に良い製品にとて興味を引かれました。例えば、ヤモリの足を参考にした接着テープや、蚊の針を参考にした注射針が挙げられます。この分野は、生物学・化学・工学のほかに、微生物や遺伝子学の知識が必要なのですが、まだ習っていないのであまり想像できません。それから、研究者になるには大学院(六年から八年)に通わないといけないので何だか大変そうです。

そのために、今私ができることは、単純なことだと思います。それは、読み・書き・計算をすることです。もちろん学校で当たり前に行っていることですが、自分からもっと深く勉強していくことが目標です。

雲の上の存在だった高校が、三年後に迫ってきていたことを実感して、少しつねられた気分になりました。いつか、ここに書いた事が笑い話になってしまうかもしれません。どんな事であれ、今は宿題をこなすだけではなく、自分から新しい事を学んでいきたいと思っています。

◆パトロール当番予定表 (3月18日) ◆

これは当番一覧表に記載された予定です。  
変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1 (リーダー)	中1	30	小林 瑞季
AM2		31	橋爪 壮太
AM3		32	伊藤 謙臣
AM4		33	小滝 未祐
AM5		34	坂本 和叶
AM6		35	服部 愛
AM7		36	門野 咲希
AM8		37	小林 莉子
AM9		39	新美 陸人
★PM1 (リーダー)	中2	1	村上 葉月
PM2		2	宮内 英士
PM3		3	岩原 果奈
PM4		4	村田 萌歌
PM5		5	水野 妃織
PM6		6	塚谷 朋香
PM7		7	甲斐 水葵
PM8		8	吉田 志織
PM9		9	大川 拓馬

※4月からは、パトロール当番予定表の学校だよりへの掲載はいたしません。

**保護者カード着用のお願い**

保護者の皆様が補習校へ入る場合は、不審者侵入の抑止力として、保護者カードの着用をお願いしています。

**お知らせ**

**(授業用の学習ノートについて)**

4月当初に小学部で使用する学習ノート(国語・算数)を児童全員に1冊ずつ配布します。

例年、年度当初に新しいノートを購入する方が多く、他の業務と重なった事務職員が対応できずにご迷惑をかけたたり、金銭(小切手)のトラブル等を避けるための措置であることをご理解ください。

なお、現在使用中のノートはそのまま上学年で使用することができます。使い終わってから新しいノートに変えていただいても結構ですし、学年の始めから使用していただいても結構です。



昼休みの遊びの様子



卒業証書授与式・歌の練習

《4月以降の予定》変更する場合があります

- 4/8 始業式・入園式・入学式、教科書配布  
学級記念写真、新年度クラス委員抽選
- 4/15 新年度 PTA 役員抽選
- 4/22 新年度 PTA 役員会、
- 4/29 避難訓練、新年度 PTA クラス委員会  
PTA 総会

**《学籍》**

在籍数 (3月11日現在) 492名  
幼40名、小349名、中72名、高31名

Japanese Language Supplementary School of Houston  
12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077  
Tel: 281-531-6743 / Fax: 281-531-6795 (事務局 火~金)  
Tel.Fax: 713-973-0659 (職員室 土のみ)  
E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

(文責) 校長 立野誠之